

現代文詳説 (55 分授業)	単位数	3	時間数	105時間
----------------	-----	---	-----	-------

## 1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>(1) 幅広い分野にわたる評論を読み、その要旨を的確に読み取る力をつけるとともに、入試問題への対応力を養う。</p> <p>(2) 小説読解の基本となる登場人物の心情理解を中心に、情景描写や比喩、象徴など表現の特徴にも注目しながら、入試問題への対応力を養う。</p> <p>(3) 漢字等の語彙力や表現力を身につけ、幅広いコミュニケーションにつながられるような表現力を養う。</p>
使用教科書・副教材等	『現代文 思考の論理スイッチ 標準編2』(浜島書店) 『現代文 解法のテクニック3』(啓隆社) 『現代文練習帳 ことのは』(いっずな書店) 『TOP2500』(いっずな書店)

## 2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	時数	学習のねらい
第1学期	『現代文 思考の論理スイッチ 標準編2』 1～12 『改訂版 ことのは』一章	4 5 6	35	上記『学習の到達目標』に示されているような力をつける。
	[ 課題・提出物等 ] 授業の進度に応じて要約等の課題を課す。			
	[ 考査範囲 ] 教材のうち授業で扱った範囲、および課題として課した教材。			
	[ 第1学期の評価方法 ] 定期考査、学習意欲、課題の提出状況などを総合して評価する。			
第2学期	『現代文 思考の論理スイッチ 標準編2』 13～25 『現代文 解法のテクニック3』より数編 『改訂版 ことのは』二章	6 7 9 10 11	50	上記『学習の到達目標』に示されているような力をつける。
	[ 課題・提出物等 ] 授業の進度に応じて要約等の課題を課す。			
	[ 考査範囲 ] 教材のうち授業で扱った範囲、および課題として課した教材。			
	[ 第2学期の評価方法 ] 定期考査、学習意欲、課題の提出状況などを総合して評価する。			
第3学期	『現代文 解法のテクニック3』より数編 『改訂版 ことのは』三章	12 1 2	20	上記『学習の到達目標』に示されているような力をつける。
	[ 課題・提出物等 ] 授業の進度に応じて要約等の課題を課す。			
	[ 考査範囲 ] 教材のうち授業で扱った範囲、および課題として課した教材。			
	[ 第3学期の評価方法 ] 定期考査、学習意欲、課題の提出状況などを総合して評価する。			
[ 年間の学習状況の評価方法 ] 定期考査、学習意欲、課題の提出状況などを総合して評価する。				